



# 感染症対策の手引き

第2回企画代表者会議配布資料



# 目次

---

## 1. はじめに

---

概要	3
共通方針	3

## 2. 屋内企画

---

屋内企画共通の感染症対策	5
企画内容ごとの感染症対策	5

## 3. 屋外企画

---

屋外企画共通の感染症対策	9
企画内容ごとの感染症対策	9

## 4. ステージ・劇場企画

---

ステージ・劇場企画共通の感染症対策	13
企画内容ごとの感染症対策	13
(参考)観客について	15

## 5. 構外企画

---

構外企画の感染症対策	16
------------	----



# はじめに

## 概要

### 本資料の立ち位置

- 『感染症対策の手引き』（以下、本資料とします）は、企画形態や内容に応じて感染症対策に留意しながら問題なく企画を実行できるよう、作成されたものです。
- 第73回駒場祭における企画の感染症対策は、委員会が一括して大学と調整を行います。感染症対策について、大学に直接問い合わせることは控えてください。

### 本資料の使い方

- 自企画の企画形態や内容に応じて、必要箇所を確認してください。
  - » 該当する企画内容がない場合は、本資料に掲載された他の企画内容ごとの感染症対策をもとに、感染症対策を検討してください。
- 「参照方法の例」に従い、企画形態ごとに共通する感染症対策と、企画内容ごとの感染症対策をあわせて確認してください。

### 参照方法の例

- 屋外で歌唱を行う企画
  - » 「屋外企画共通の感染症対策」+「歌唱を行う企画(屋外)」
- 屋内で飲食物提供を行いつつ、楽器演奏を行う企画
  - » 「屋内企画共通の感染症対策」+「集団で楽器の演奏を行う企画(屋内)」+「屋内で飲食物の提供を行う企画」

## 共通方針

### 遵守すべき感染症対策

- 本資料に掲載している感染症対策は、基本的にすべて遵守してください。
- 特に、すべての企画について「マスクの着用」および「人同士の1m以上の距離の確保」を徹底してください。

## マスクの着用

- 企画実行および準備・片付けにあたっては、企画構成員および来場者が常にマスクを着用するようにしてください。
  - » ただし、屋内で飲食物提供を行う企画は、飲食を行う際に限り、来場者がマスクを外すことが認められます。

## 人同士の1m以上の距離の確保

- 原則として、人同士の距離を1m以上確保してください。
- ただし、待機列など発話を伴わない場面においては、最低限人同士が触れない程度の距離(50cm程度)の確保で代替できるものとします。
- 物品の受け渡しなどで一時的に接近する場合は、十分に注意し、必要最小限にとどめてください。
- 1m以上の間隔を保つため、企画場所に立ち入る企画構成員の人数は最小限にしてください。

## **大学との調整が必要な企画**

- 「マスクの着用」「人同士の1m以上の距離の確保」のいずれか一方でも実行できない企画は、委員会を通じて大学との調整が必要となります。
  - » これらの感染症対策を実行できる場合でも、感染症対策の観点から大学との調整が必要となる場合があります。
  - » 本資料に掲載されている感染症対策を遵守することで企画実行に支障をきたす場合に、別途感染症対策を検討することが目的です。
- 感染症対策が不十分である場合は、さらなる感染症対策の実施や企画内容の変更を求めることがあります。

# 2

## 屋内企画

### 屋内企画共通の感染症対策

すべての屋内企画は、以下の感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容ごとの感染症対策を行ってください。

- **企画構成員および来場者は常にマスクを着用する**
- **原則として、人同士の距離を1m以上確保する**
- 最大同時滞在人数が教室定員を超えないように注意する
- 30分につき1回以上、すべての窓やドアを5分間開放して換気を行う
  - » 窓やドアがない場合は、機械換気(換気扇の使用など)を行ってください。
  - » 企画内容の都合上、この頻度の換気が徹底できない場合でも、可能な限りこまめに換気を行ってください。
- 消毒液などを設置し、企画構成員や来場者が企画場所に入る前に消毒を行うよう徹底する
- 企画場所をこまめに消毒する
  - » 特に机や椅子の背もたれ、ドアノブなどを消毒してください。
  - » 委員会が消毒すべき箇所をリストアップしてまとめた「消毒リスト」を第3回企画代表者会議にて配布します。

### 企画内容ごとの感染症対策

屋内企画が企画内容ごとに留意すべき感染症対策は以下の通りです。

#### 展示を行う企画

- 展示物などの、接触感染のリスクに繋がりがやすい箇所については、可能な限り接触頻度を抑えつつ、こまめに消毒する

#### 物品の販売を行う企画

- 物品およびその代金の受け渡しが発生する場合は、可能な限り手渡しを避ける
- 待機列が形成される場合は、発話を伴わない場合でも、最低限人同士が触れない程度の距離(50cm程度)を必ず確保する

## 歌唱を行う企画

- 歌唱中は、前後での歌唱者同士および歌唱者と来場者の間隔を1.5m以上離す
  - » 1.5m以上離すことができない場合、委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- パフォーマンスの都合上、一時的に企画構成員同士の距離を1m以上確保できない場合、なるべく短時間で済むように調整する
- マスクの着用により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 合唱を行う際は全員が同じ方向を向き、飛沫がかからないよう、前後の歌唱者で左右をずらす
- 歌唱中も咳エチケットを実践する

## 集団で楽器の演奏を行う企画

- 演奏スペースに対して人との十分な距離が取れる演目・プログラムを検討する
- 近距離で向かい合う形での演奏は避ける
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 演奏中も咳エチケットを実践する

## バンド演奏を行う企画

- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 機材を触る人数を最小限に抑え、機材を触る前後には消毒・手洗いを徹底する

## パフォーマンスを行う企画

- パフォーマンスの都合上、一時的に人同士の距離を1m以上確保できない場合、なるべく短時間で済むように調整する
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。

## 講演会などを行う企画

- 講演者同士の距離も含めて人同士の距離は1m以上確保し、必要のない会話は控える

## 相談会などを行う企画

- ・ 構外にいる企画構成員がオンラインでの相談にあたるなど、教室内の人数はなるべく削減する

## 来場者が実際に参加する体験型の企画

- ・ 企画場所において人との十分な距離が取れる企画内容を検討する
- ・ マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- ・ 企画実行中も咳エチケットを実践する
- ・ 来場者が道具を共用する場合、こまめに消毒を行う
- ・ 来場者が密集しないよう、企画構成員が呼びかけを行う

## 屋内で飲食物の提供を行う企画

- ・ 本項は構内での飲食を想定した飲食物の提供を行う企画が留意すべき感染症対策を掲載しています。
  - » 来場者の飲食によるクラスターの発生などを防止するため、ご協力をお願いします。
- ・ 飲食物の提供以外の企画内容をあわせて実行する場合、該当する内容の感染症対策も必ず参照してください。
  - » 飲食物の提供以外の企画内容をあわせて実行する場合は、委員会を通じて大学との調整が必要となる場合があります。

## 特に遵守すべき感染症対策

以下の感染症対策を行うことができない場合、委員会を通じて大学との調整が必要となります。

- ・ 企画場所内に来場者の飲食のみを目的としたスペースを設置する
- ・ 飲食を行う来場者以外はマスクを常に着用し、来場者が飲食を行う際は黙食を徹底させる
  - » 上記の感染症対策を行っていれば、「マスクの常時着用」を実行できない場合も、大学と調整を行う必要はありません。
- ・ 飲食を行う来場者同士の距離を1m以上確保し、対面で着座することのないよう座席を設置する

## 企画実行にあたっての感染症対策

- 待機列が形成される場合は、最低限人同士が触れない程度の距離（50cm程度）を必ず確保する
- 来場者が食事前に手指消毒を行うよう徹底する
- 皿や箸などの食器は原則として使い捨てのものを使用する
  - » 使い捨てのものを使用することが難しい場合は、使用するたびに十分に洗浄することを徹底し、洗浄なしでの共有は避けてください。
- 食事が終わっても飲食スペースに滞在している来場者には声掛けなどを行い、長時間の滞在を防止する
- 調理を行う企画構成員は、調理前および調理中にこまめに手洗い・消毒を行う
- 調理に使用する器具はこまめに洗浄・消毒を行う

## 企画運営上の注意

駒場祭当日は感染症対策の観点から、次の注意事項を遵守して企画を実行してください。遵守していない場合、企画内容の変更や中止を求めることがあります。

- 企画場所における来場者の最大同時滞在人数は、原則として飲食スペースの席数までに制限する
- 待機列が過度に長くなった場合、来場者が新たに列に並ぶことを一時的に制限する
- 企画場所で購入した飲食物は企画場所内で飲食することを義務付け、持ち帰りを禁止する



# 3

## 屋外企画

### 屋外企画共通の感染症対策

すべての屋外企画は、以下の感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容ごとの感染症対策を行ってください。

- 企画構成員および来場者は常にマスクを着用する
- 原則として、人同士の距離を1m以上確保する
- テント内などの企画場所に滞在する企画構成員は必要最低限にとどめる
- テント内は換気が十分に行われるよう、レイアウトを工夫する
- 消毒液などを設置し、企画構成員や来場者が企画場所に入る前に消毒を行うよう徹底する
- 企画場所をこまめに消毒する
  - » 特に机、椅子の背もたれ、マイクなどを消毒してください。
  - » 委員会が消毒すべき箇所をリストアップしてまとめた「消毒リスト」を第3回企画代表者会議にて配布します。

### 企画内容ごとの感染症対策

屋外企画が企画内容ごとに留意すべき感染症対策は以下の通りです。

#### 物品の販売を行う企画

- 物品およびその代金の受け渡しが発生する場合は、可能な限り手渡しを避ける
- 待機列が形成される場合は、最低限人同士が触れない程度の距離（50cm程度）を必ず確保する
- 来場者が密集しないよう、企画構成員が呼びかけを行う

## 歌唱を行う企画

- 歌唱中は、前後での歌唱者同士および歌唱者と来場者の間隔を1.5m以上離す
  - » 1.5m以上離すことができない場合、委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- パフォーマンスの都合上、一時的に企画構成員同士の距離を1m以上確保できない場合、なるべく短時間で済むように調整する
- マスクの着用により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 合唱を行う際は全員が同じ方向を向き、飛沫がかからないよう、前後の歌唱者で左右をずらす
- 歌唱中も咳エチケットを実践する
- 来場者が密集しないよう、企画構成員が呼びかけを行う
- 来場者が声援や大きな声を出す行為を行わないよう、企画構成員が呼びかけを行う

## 集団での楽器の演奏を行う企画

- 演奏スペースに対して人との十分な距離が取れる演目・プログラムを検討する
- 近距離で向かい合う形での演奏は避ける
- 来場者と演奏者の距離を1m以上確保する
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 演奏中も咳エチケットを実践する
- 来場者が密集しないよう、企画構成員が呼びかけを行う
- 来場者が声援や大きな声を出す行為を行わないよう、企画構成員が呼びかけを行う

## パフォーマンスを行う企画

- パフォーマンスの都合上、一時的に人同士の距離を1m以上確保できない場合、なるべく短時間で済むように調整する
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 来場者が密集しないよう、企画構成員が呼びかけを行う
- 来場者が声援や大きな声を出す行為を行わないよう、企画構成員が呼びかけを行う

## 来場者が実際に参加する体験型の企画

- 企画場所において人との十分な距離が取れる企画内容を検討する
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 企画実行中も咳エチケットを実践する
- 来場者が道具を共用する場合、こまめにその消毒を行う
- 待機列が形成される場合は、最低限人同士が触れない程度の距離（50cm程度）を必ず確保する
- 来場者が密集しないよう、企画構成員が呼びかけを行う

## 屋外で飲食物の提供を行う企画

### 企画実行にあたっての感染症対策

- 待機列が形成される場合は、最低限人同士が触れない程度の距離（50cm程度）を必ず確保する
- 皿や箸などの食器は原則として使い捨てのものを使用する
  - » 使い捨てのものを使用することが難しい場合は、使用するたびに十分に洗浄することを徹底し、洗浄なしでの共有は避けてください。
- 調理を行う企画構成員は、調理前および調理中にこまめに手洗い・消毒を行う
- 調理に使用する器具はこまめに洗浄・消毒を行う

### 企画運営上の注意

駒場祭当日は感染症対策の観点から、次の注意事項を遵守して企画を実行してください。遵守していない場合、企画内容の変更や中止を求めることがあります。

- 待機列が過度に長くなった場合、新たに列に並ぶことを一時的に制限する
- 飲食ブロック内の企画で購入した飲食物は指定された飲食スペース内で飲食することを義務付け、**持ち帰りを禁止する**

## **(参考)飲食ブロックにおける感染症対策**

委員会の設置する「飲食ブロック」における感染症対策を掲載しています。飲食ブロック内で飲食物の提供を行う企画は、以下の感染症対策を踏まえて、企画を実行してください。

- 飲食を行う来場者以外はマスクを常に着用し、来場者が飲食する際は黙食を徹底させる
- 飲食を行う来場者同士の距離を1m以上確保し、対面で着座することのないよう座席を設置する
- 飲食ブロックにおける来場者の最大同時滞在人数は、飲食スペースの席数までに制限する
- 飲食ブロック内の企画で購入した飲食物は指定された飲食スペース内で飲食することを義務付け、持ち帰りを禁止する
- 食べ歩きや飲食スペースでない場所で飲食をしている来場者に対しては、委員が飲食スペースで飲食を行うよう呼びかける
- 来場者が食事前に手指消毒を行うよう徹底する
- 来場者が使用する机や椅子などは、巡回している委員がこまめに消毒を行う
- 食事が終わっても飲食スペースに滞在している来場者には声掛けなどを行い、長時間の滞在を防止する

# 4

## ステージ・劇場企画

### ステージ・劇場企画共通の感染症対策

すべてのステージ・劇場企画は、以下の感染症対策を行ってください。そのうえで、企画内容ごとの感染症対策を行ってください。

- **企画構成員および来場者は常にマスクを着用する**
- **原則として、人同士の距離を1m以上確保する**
- 屋内のステージ・劇場については、30分につき1回以上、すべての窓やドアを5分間開放して換気を行う
  - » 窓やドアがない場合は、機械換気(換気扇の使用など)を行ってください。
  - » 企画内容の都合上、この頻度の換気が徹底できない場合でも、可能な限りこまめに換気を行ってください。
- 消毒液などを設置し、企画構成員が企画場所に入る前に消毒を行うよう徹底する
- 使用する企画場所をこまめに消毒する
  - » 特に椅子の背もたれ、手すり、ドアノブ、マイクなどを消毒してください。
  - » 委員会が消毒すべき箇所をリストアップしてまとめた「消毒リスト」を第3回企画代表者会議にて配布します。
- 機材を触る人数を最小限に抑え、機材を触る前後には消毒・手洗いを徹底する

### 企画内容ごとの感染症対策

#### 歌唱を行う企画

- 歌唱中は、前後での歌唱者同士および歌唱者と来場者の間隔を1.5m以上離す
  - » 1.5m以上離すことができない場合、委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- パフォーマンスの都合上、一時的に1m以上の距離を取れない場合、なるべく短時間で済むように調整する
- マスクの着用により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 合唱を行う際は全員が同じ方向を向き、飛沫がかからないよう、前後の歌唱者で左右をずらす
- 歌唱中も咳エチケットを実践する

## 集団で楽器の演奏を行う企画

- 舞台上のスペースに対して人との十分な間隔が取れる演目・プログラムを検討する
- 近距離で向かい合う形での演奏は避ける
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 演奏中も咳エチケットを実践する

## パフォーマンスを行う企画

- パフォーマンスの都合上、一時的に人同士の距離を1m以上確保できない場合、なるべく短時間で済むように調整する
- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 機材を触る人数を最小限に抑え、機材を触る前後には消毒・手洗いを徹底する
- 舞台上での交代は時間に余裕をもって行う

## バンド演奏を行う企画

- マスクの着用や距離の確保により企画の実行が困難になる場合には、フェイスシールドの着用やビニールパーテーションの設置などで代替する
  - » 委員会を通じて大学との調整が必要となります。
- 機材を触る人数を最小限に抑え、機材を触る前後には消毒・手洗いを徹底する

## (参考)観客について

ステージ・劇場を観覧する観客に対しては、委員会により以下のような感染症対策を徹底する予定です。ステージ・劇場で実行する企画はご理解・ご協力をお願いします。

- 屋外ステージにおいては、観覧スペースを限定し、そのスペースの入場には人数制限を設ける
- 屋内ステージ・劇場においては、原則着席して観覧するものとし、席数に応じてステージ・劇場の入場には人数制限を設ける
- **来場者には常にマスクの着用を義務づける**
- **観覧する来場者の間の距離を1m以上確保する**
- 入場時は消毒を徹底する
- 客席では会話を控えるよう、注意を促す
- 舞台端から客席最前列までを2m以上確保する
- 全員が同じ方向を向くようにする
- コール&レスポンス、参加型演出、来場者と接触する(ハイタッチなど)演出は禁止とする
- 場内に委員を配置し、感染症対策に留意する
- 退場時に密が発生しないよう、規制退場を行う

# 5

## 構外企画

### 構外企画の感染症対策

構外で企画を実行する場合でも、本資料に掲載された企画内容ごとの感染症対策を参照し、企画場所で感染症対策を行ってください。加えて、以下の点に留意してください。

- 外部の施設を利用する場合には、その施設の利用条件を遵守する
- 事前に撮影した映像を公開する場合は、撮影時期に応じて適切な感染症対策を行う



# 感染症対策の手引き

---

2022年9月2日(金)発行

## 発行：第73期駒場祭委員会

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学構内 キャンパスプラザA棟1階103号室

TEL: 03-5454-4349 FAX: 03-3466-1865

Email: [committee@komabasai.net](mailto:committee@komabasai.net)